

一応供覧	文書分類		保存年限	1 3 5 10 永
議長	局長	書記	主任	担当
				

1 号様式

令和 7 年 11 月 2 5 日

津南町議会議長 風巻 光明 様

議席番号 3 番

議会議員 村山郁夫



→ 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 7 年 12 月 10 日開会の第 4 回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第 61 条第 2 項の規定により通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1, 病床数適正化支援事業給付金について	厚生労働省の「医療施設等経営強化緊急支援事業」は令和 6 年度の事業残などの財源をもとに 7 年度に継続している。 このなかで津南病院では、6 年度手あげにより 38 床を申請し、1 床当り 410 万円の 1 億 5, 596 万円を予定していたところ、当初公立病院は対象外とされ、7 年 6 月には 0 内示とされた。そのため、県への院長・町長要望書の提出と町長要望活動を通じて給付金の確保を強く訴えてきた結果、令和 7 年 8 月に 0 床から 4 床分の 1, 641 万円を認めるとする 2 次内示があった。 (1) 2 次内示の予算配分対象要綱によれば、公立病院が対象に追加されたが、さらに条件として直近 2 年度決算の経営赤字であることとされている。津南病院	町長

質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。



2号様式

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
	は令和5年度決算が647万円の純利益を計上しているところ、6年度では1億1,672万円の赤字となっている。これは要項で言う「2年連続赤字」の基準に合わないが、どのように折衝し認められたのかその経過を伺う。 (2) 廃止が認められた4床を除いた残り34床についてどのように利用していくのか伺う。 (3) 令和7年度の病院事業会計予算書には計上していない金額であるため、認定された額はそのまま7年度の町一般会計からの補助金を減らす効果があるところ、予定していた額より1億4千万円弱見込めないものとなる。この額の復活は病院経営改善計画上不可欠な要素であり、町一般会計の繰出金減少にもつながるが、その復活見通しと今後の制度見通しについて伺う。	
2、新潟県地域医療構想について	(1) 新潟県では2017年に策定した地域医療構想の更新を計画しており、高齢者や人口減少を見据え、医療機関の役割分担を明確化し、医療機関の連携・再編・集約化の推進などが挙げられている。	町長

	このなかで、増加する高齢者救急等の受け皿として病床の機能は急性期と回復期の機能を併せ持つ包括期機能へと変更となるとされている。津南町における令和7年10月の75歳以上住基人口は2170人で、全体の26.2%であり、今後後期高齢者が救急搬送や来院する頻度は高くなるいっぽうと推測される。このとき津南病院で新地域医療構想に基づいた急性期から回復期までの包括期機能病床として機能するためには、感染症など対応可能な一定の症例に絞って受け入れる必要が出てくる。病床は確保できても初期治療対応が難しい場合、新構想の理念が実現できないことになる。新構想が1病院での完結型かどうかは不明だが、津南病院の高齢者医療について将来的な医療サービスをどの程度の水準まで提供できるかという検討がなされているか伺う。 (2) 令和8年度から県立松代病院の無床診療所化が伝えられているなかで、県から津南病院との連携を打診されている分野はあるのか伺う。	
3、出産費用支援について	(1) 管内で分娩できる産院の確保が危ぶまれているなかで、県内の周産期医療機関も含めた出産経費としては50~60万円となっている。一方、関東の産科専	町長

	門病院では充実した設備・待遇で 80 万から 100 万円を超えるところもある。そこで、町民が町外でも安心して出産できるよう相当額を支援する制度を検討することはどうか伺う。	
4 地下水及び水源地域の保全条例について	(1) 条例が施行される指定地域において、水量と水質の変化をモニタリングする仕組みを構築することが重要となるが、どのようにしていくのか伺う。 (2) ニュー・グリーンピア津南地域の場合、構内で利用した湧水・河川水は下流住民がその用水を再度利用できるという期待を裏切らないよう、流末は下流に流すことを約した土地売買契約とすべきだが、どのように考えているのか伺う。 (3) 地下から汲み上げている温泉水の終末処理について水質汚濁の防止をどのように契約していくのか伺う。	町長